

2019年3月 19日
第 120号

全労連 憲法 平和闘争ニュース

全労連
憲法・平和グループ

「民意は示された！」「土砂投入やめろ！」

沖縄県民大会に1万人 (3/16)

沖縄県民大会に参加した全労連・長尾ゆり副議長のレポートです。



3月16日、那覇の新都心公園で「土砂投入を許さない！ジュゴン・サンゴを守り、辺野古新基地建設断念を求める3・16県民大会」が開かれ、1万人以上の市民が参加し、「新基地建設断念までたたかう」意思が確認されました。

2月24日の「辺野古埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票」で、埋め立て「反対」は、投票数の72%、43万4149票にのぼりました。全市町村で多数を占め、圧倒的な民意が示されたにも関わらず、政府は埋め立て工事を続けています。さらに、3月25日には新たな区画への埋め

立て土砂投入をねらっています。

県民大会は、民意を無視して違法な行為を続ける安倍政権への怒りでいっぱいでした。それとともに、県民大会の結果を受けて、「辺野古新基地建設中止こそ、多数派。追い込まれているのは安倍政権だ」という運動への確信や自信も感じる大会でした。

ステージに上がった発言者も、会場の参加者も、シンボルカラーの青、青、青。政党や思想信条の違いを超えて、年齢を超えて、参加者の思いは「辺野古の青い海を守れ」で一致しています。

今回の県民大会では、青年の発言・青年の参加が目立ちました。昨年秋の知事選挙に続いて、県民投票でも青年が活躍し、その成果が発言に表れました。青年は、沖縄のたたかひの歴史への確信を語りながら、「オジイ・オバアに任せっきりにはいけない。若者も頑張らねば…」と決意を示しました。

公務で出席できなかった玉城デニー知事からは、「県民の民意・思いを何よりも尊重し、日米両政府が辺野古新基地建設を断念するまで、揺らぐことなくたたかひ続けます」とのメッセージが寄せられました。

参加者全員で、「民意は示された！」「土砂投入をやめろ！」のプラカードを高々と掲げ、最後は、知らない人どうし手をつないで、「沖縄式のガンバロー！」。沖縄の強い日差しの中、熱い集会でした。

「辺野古に基地はつぐれない」いよいよ明らかに！

15～16日の午前中は、辺野古支援行動を行いました。青いキラキラした海に、「平和丸」で漕ぎ出すと、無謀な護岸工事、オレンジ色のブイが景観を壊しています。「禁止区域です。立ち去りなさい」という

警備隊からの声が飛びます。一方、少し漕ぎ出して、海底をみれば、サンゴ群にコバルトブルーの小さな魚が遊んでいます。1日も早く、この工事を止めなければとあらためて思いました。

この間にも、大浦湾側のマヨネーズ状の超軟弱地盤を政府も認めざるをえず、その費用も工期も莫大にかかること、そもそも地盤改良工事が可能なかどうかすら不明になってきました。さらに、楚久(そく)断層と辺野古断層という2つの活断層の存在、7万4000群体のサンゴを移植できるのか、など、課題は山積しています。「辺野古に基地はつくれない」ということが技術的にもはっきりとしてきました。これ以上の無駄な税金投入、生態系を脅かす環境破壊は、今すぐ止めなければなりません。

辺野古「移設」を条件にする限り、危険な普天間基地は存続し続けてしまいます。「辺野古に基地はつくれない」。そして、世論と運動の力で「辺野古に基地はつくらせない」。さらに普天間にも、辺野古にも、基地はいらない。沖縄にも、日本全国にも基地はいらない。沖縄と心ひとつにした運動が重要です。

「沖縄の民意に従い、辺野古新基地は中止！ 普天間基地は撤去！」 新聞意見広告運動 締め切り迫る!! ご協力を!

昨年末より取り組んでいる「沖縄の民意に従い、辺野古新基地は中止！ 普天間基地は撤去！」の新聞意見広告運動は、3月7日現在の賛同は、中央団体29、地方団体1385、個人約1万1000人となっています。

この到達点をふまえて、実行委員会では、掲載紙については朝日新聞、毎日新聞、東京新聞、琉球新報、沖縄タイムスの5紙とし、掲載日は4月8日とすることが決まりました。5紙掲載の費用を確保するためにはあと一回りの運動拡大が求められます。意見広告最終段階における各組織のみなさんのご協力をお願いします。



*賛同金 団体1口5000円、個人1口1000円(何口でも可)

*賛同と募金送付の取り組みを3月末完遂に向けてご協力をお願いします。

*広告紙面に掲載する「実行委員会参加」団体名(全国及び都道府県レベルの団体)の登録は、3月28日(木)手続き分(4月1日安保破棄中央実行委員会事務局到着分)をもって締め切りとなります。

*すでに登録いただいている「実行委員会参加」団体については、賛同募金(1口5000円)納入をよろしくをお願いします。

<http://anpohaiki.news.coocan.jp/pdf/ikenkoukoku1812.pdf>

★当面の取り組み★

総がかり行動実行委員会等「辺野古土砂投入に抗議する3・25集会」

3月25日(月)18時30分～ 日本教育会館 第一会議室

憲法共同センター「9の日」宣伝

4月9日(火)12～13時 新宿駅西口

総がかり行動実行委員会・全国市民アクション「19日」行動

4月19日(金)18時30分～19時30分 衆議院第二議員会館前・参議院会館前

憲法共同センター学習会 新「防衛計画大綱」と「中期防衛力整備計画」の問題点(仮題)

4月22日(月)18時30分～20時30分 全労連会館2階ホール

日韓市民連帯集会実行委員会「4・24日韓市民連帯集会」(6月の日韓シンポ・プレ集会)

4月24日(水)18時30分～20時 文京区民センター3A会議室

憲法共同センター「5・3憲法集会」成功に向けた大宣伝行動

4月27日(土)14～15時 新宿駅東南口